



なかっこだより

平成30年10月19日 発行

学校だより
第7号
(後期スタート号)
多古町立中村小学校
校長 藤崎 睦

“運動会で” “敬老会で” “施設訪問で” など、“披露する” 機会の多いなかっこ集団！！

暑い夏が終わり、涼しい秋が到来しました。中村小学校児童の皆さんは、様々な行事や校外学習の折りに、自分たちの活動を人前で披露する機会がたくさんありました。



一日順延となり、**9月16日(日)に行われた中村小秋季大運動会**。午前の部、午後の部の前半では、赤白に分かれての応援合戦がありました。赤組団長 飯田 紗可さん、白組団長 鈴木 陸斗くんを中心に、チームがまとまり、素晴らしい演技・歌声を披露してくれました。特に、午後の部は、赤白それぞれ独自の出し物が披露され、来賓・敬老テント前では、素晴らしい歌声や素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。赤白いずれも、「気持ちを一つ」に結集し、赤白勝利のために「全力で」取り組んでいる姿が、なかっこらしく実に頼もしく感じました。そして、午後のスタートの「鼓笛パレード」。指揮の飛ヶ谷 実咲さんを先頭に、そ

それぞれのパートが、息の合った演技を披露してくれました。各パートが一つのチームとしてまとまった“なかっこ鼓笛隊”の姿は、観客を大いに魅了しておりました。

10月2日(火)は、中地区敬老会が開催されました。本校体育館に大勢のおじいちゃん、おばあちゃんが来校されているなか、午前中に、本校全児童による発表が行われました。最初は、手遊びによる「おじいちゃん、お婆ちゃんとのふれあい」コーナーでした。おじいちゃんやお婆あちゃんから頭をなでてもらったり、嬉しそうに肩をたたいてあげたり、カードを手渡したりと、心温まる光景でした。次に、「世界中の子供たち」を、阿部 柚乃さんの指揮の下で、手話付きで歌ってくれました。ほのぼのとした良い光景でした。2曲目は、「ソーラン節」を、工藤 優奈さんの指揮、湊谷 湊久くん、鈴木 理希さんの和太鼓の演奏を付けて、元気いっぱいに歌うことができました。なかっこの「元気良さ」をお届けできたことと思います。



さらに、先日**12日(金)の4年生の校外学習では、午後、多古町特別老人ホームを訪問**しました。ホームに在住の多くのおじいちゃんやお婆あちゃんが、客席をうすめるなかで、運動会の応援のパフォーマンスや「幸せなら手をたたこう」や「365日の紙飛行機」の2曲を披露しました。子供たちの元気な姿に、おじいちゃんやお婆あちゃんは、大きな拍手を送っておりました。そして、「アンコール」の聲があがり、敬老会で歌った「世界中の子供たち」を、手話付きで歌ってくれました。福祉活動の一環ともいえる素晴らしい光景でした。



◇『町民運動会』お疲れさまでした！！◇

10月6日(土)に、『第60回町民運動会』が多古第一小グラウンドで開催されました。昨年は、悪天候により中止となりましたが、今年は、天候に恵まれ、トラックやフィールド内で各種目が実施されました。最後の最後まで、**中地区は、多古地区と接戦を演じておりましたが、僅少差でおしくも第2位**となりました。「**小学校対校400mリレー**」では、**男女とも第2位**となり、表彰されました。

本部役員の皆さんをはじめ、多くの保護者の皆さんや地域の皆さんの御理解と御協力をいただき、最後の最後まで盛り上がる大行事となりました。お疲れさまでした。

お知らせ

来る**11月14日(水)に、「学校開放日・家庭教育学級・地域ミニ集会」を開催**します。午前中は、2校時(9時25分～)より、**授業参観**が予定されております。また、4校時(11時15分～)については、特に1年生は、「**家庭教育学級**」の一環として、**給食センターの萱田 牧子先生の食育授業及び親子給食**が予定されております。

さらには、午後1時より、「**地域ミニ集会**」として、ヤクルト職員による「**おなか元気教室**」の講演及び**家庭・地域・学校三者合同による座談会**が予定されております。御家庭の皆さん、地域の皆さん、どうぞふるって御参加ください。

<参考> 『心の成長』 について

○家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！

地域で奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員としての自覚が芽生えていきます。

家庭・学校・地域での人とのつながりを大切にし、豊かな心を育みましょう。



○家庭で、「家族の心のつながり」を大切にしていますか？

★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真剣な対話が生まれます。

★ 地域行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。

★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切にし、他人を思いやる心が育ちます。

★ 子どもにとって、「お手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを自覚する良い機会です。また、それを継続することで、子どもの責任感が育ちます。

★ 自然体験活動をとおして、豊かな感性が育ちます。

○「地域とのつながり」を大切にしていますか？

子どもと関わる大人同士が、「つながり」を持つことが重要です。

★ 地域行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。

★ 人との交流で、認められ、自己存在感に気付き、人間関係づくりができます。

○子どもの言葉遣いは気になりますか？

大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされることが大切です。

まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。

◆子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。

◆あいさつは、人との交流の基本。まず、あいさつのできる子を育てましょう。

○家庭で家族のコミュニケーションづくりを大切にしていますか？

ご家庭で子どもと話していますか？



「この頃、変わったことはない？」と語りかけてみましょう。
大人が子どもの話を真剣に聞き、心をくみ取り、聞き手のお手本を示しましょう。
人は、言葉を使って自分の気持ちを相手に伝え、相手の心もくみ取ります。
まず、大人が手本を示し、丁寧な言葉を使いましょう。

<参考資料> 千葉県教育委員会『学校から発信する家庭教育支援プログラム』より